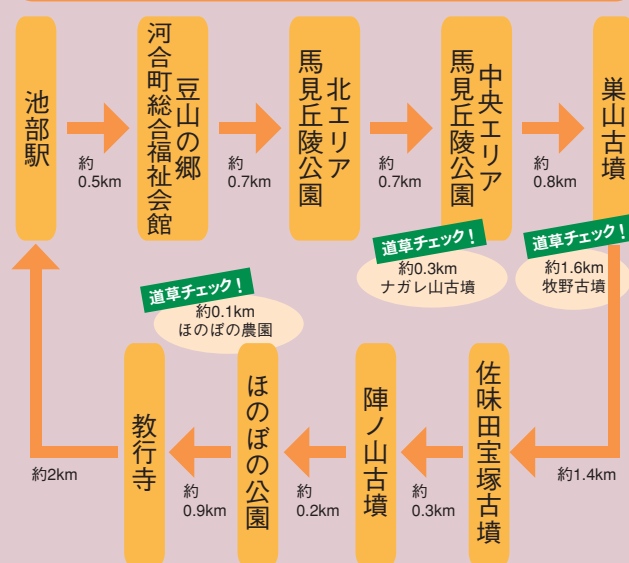


古代文化に迫る

古墳浪漫コース

見上げればうっそうと巨木が生い茂る丘陵。山と見まちがえそうなその場所は、時の権力者であった豪族たちのモニュメント。いまは、とても緑が美しいこの頂きに、歴史ロマンのかけらが眠っています。さあ、古代人たちからのメッセージを探しに出かけましょう。

モデルコース



- モデルコース (おすすめの見どころスポットをたどるコースです)
- 道草チェック (ちょっと足をのびてほしいスポットです)
- 町界
- 大型動物化石の出土範囲
- 遺跡の範囲
- バス停
- 豆山の郷巡回ワゴン「豆山の郷」号停留所
※バス停の位置は、2010年1月のものです。
変更されている場合がありますので、ご了承ください。
- 案内標識
- 案内地図

おとめやまこふん 1 map 乙女山古墳

典型的な帆立貝形古墳として著名な古墳。墳丘全長は130mで、後円部直径104mに対し、前方部長30m、幅5.2mで極端に短く低平になっています。後円部には別に造り出しがあり、家形埴輪などが出土しています。また、墳丘の周囲には周濠と外堤が巡っています。(昭和31年11月7日、国指定史跡)



うまきゅうりょうこうえんかん 2 map 馬見丘陵公園館

馬見丘陵公園の情報ステーションである館内には、馬見丘陵で見ることができ自然や古墳が、写真や模型を使って紹介されています。「公園館ご利用ガイド」お問い合わせ：0745-56-3851 開館時間：9:00～17:00 休館日：毎週月曜日（月曜日が休日の場合は次の平日）、年末年始



かたびこふんぐん 3 map カタビ古墳群

馬見丘陵公園造成に先立つ発掘調査で4基の古墳が確認されました。1号墳（方墳）と3号墳（円墳）は大型古墳が盛んに築造された5世紀代に造られたもので、2号墳（円墳）と4号墳はほとんど古墳が築かれなくなった7世紀代の古墳です。



さみたしづか1・2ごうふん 4 map 佐味田石塚1・2号墳

昭和59年、馬見丘陵公園中央エリア入口付近の県道工事の際に発見され、同エリア内に移築保存されている古墳です。両古墳ともに堅穴の小石室で、1号墳の床面には飛鳥時代の瓦が敷き詰められていました。1号墳は7世紀前半、2号墳は6世紀末に築造されたものです。

べっしよしたごふん 5 map 別所下古墳

直径60mの円墳、または全長60mの帆立貝形古墳と考えられています。4世紀後半の築造で、河合町内では佐味田宝塚古墳、ナガレ山北3号墳と並ぶ最古の古墳です。



いっほんまつごふん 6 map 一本松古墳

全体に開墾が著しいため詳細は不明ですが、墳丘全長150m、後円部直径90m、前方部幅60m程度の前方後円墳とされ、築造時期は4世紀後半と見られています。

ながれやまきた3ごうふん 7 map ナガレ山北3号墳

ナガレ山古墳の北側に位置する直径約60mの円墳で、付近から出土した鱗付円筒埴輪や朝顔形埴輪の特徴から、別所下古墳と同時代の4世紀後半の築造と考えられています。



ながれやまこふん 8 map ナガレ山古墳

約1600年前、5世紀初頭の築造とされる全長105mの前方後円墳。古墳頂上から当時の姿と現在の姿を同時に見比べられる全国でも珍しい古墳で、東側半分の葺石と埴輪列が復元されています。(昭和51年12月27日、国指定史跡)



くらづかこふん 9 map 倉塚古墳

現状で墳丘全長約180m、後円部直径106m、前方部幅70mを測る前方後円墳です。詳細は不明ですが、周辺で出土している埴輪円筒棺から5世紀前半の築造と推測されています。

すやまこふん 10 map 栗山古墳 (広陵町)

墳丘全長220m、後円部直径110m、前方部幅94m、馬見丘陵最大の前前方後円墳。両方のくびれ部に三角形の造り出しが付設され、墳丘の周囲には周濠と外堤が良好な形で残る特別史跡です。埋葬施設は、後円部墳頂に2基の堅穴式石室、前方部頂上に小規模な石室があったとされています。見学のお問い合わせ：広陵町教育委員会文化財保存センター0745-55-1001

かいぶきやま2ごうふん 11 map 貝吹山2号墳

佐味田宝塚古墳史跡指定地内南西部に位置する古墳で、直径約30mの円墳です。

ぼくやこふん 12 map 牧野古墳 (広陵町)

6世紀後半築造の直径約50mの円墳。全長17.1mの大型の横穴式石室が閉口しており、玄室には奥壁に沿って列柱式家形石棺が置かれています。舒明天皇の父である押坂彦人天智天皇の成相墓の可能性が有ります。見学のお問い合わせ：広陵町教育委員会文化財保存センター0745-55-1001



さみたたからづかこふん 13 map 佐味田宝塚古墳

全長112m、後円部直径60m、前方部幅45m、4世紀後半に築造された馬見丘陵内最古の前方後円墳。明治14年（1881）に家屋文鏡を含む36面の銅鏡の出土で有名なほか、玉類・鍬形石・石剣・車輪石・石製壺・琴柱形石製品・異形石製品・石製模造品（鏝・斧・鎌・剣・刀子・紡錘車・有孔円板）・巴形銅器・銅鏃・鉄刀・鉄剣・鱗付円筒埴輪・形象埴輪（家・蓋・盾・靴・草摺・短甲）など多数の遺物が出土しています。(昭和62年5月12日、国指定史跡)



かいぶきやまこふん 14 map 貝吹山古墳

佐味田宝塚古墳の後円部北側にあった前方後円墳とされていますが、開墾のために墳丘の状態が不明です。明治18年（1885）に、銅鏡7面が出土しています。

じんのやまこふん 15 map 陣ノ山古墳

墳頂部に盗掘穴がある直径約18mの円墳。戦国時代に陣が張られた場所とされており、法螺貝が吹かれた貝吹山と対をなしています。

ほのぼのこうえん&ほのぼのうえん 16 map ほのぼの公園&ほのぼの農園

加明池周辺にある自然公園。芝生を敷き詰めた広場や、バーベキュー施設など、まちで人気のアウトドアスポット。付近には、まちの人々が農業に親しむほのぼの農園もあります。



きょうぎょうじ 17 map 教行寺

石山合戦で織田信長の軍勢に焼き払われ、天正8年（1580）に、摂津富田（高槻市）から現在の地に移ってきた寺院。境内には1843年に建てられた本堂や鼓楼が残されています。



かわちゅうりゅうこうえんかん 18 map 河合町中央公民館 文化財展示室

ナガレ山古墳の埴輪や勾玉をはじめ、町内の各遺跡の出土品が展示されています。見学希望の際は、事前に予約してください。入館無料。月曜、年末年始休館。利用時間9時～17時。予約 0745-57-2271

